事例No.	1735
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	京都府亀岡市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・組織改革 ・EBPM

事例種類	経営戦略

事例内容・タイトル

上下水道事業の一体運営を目指した経営戦略の策定

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【京都府亀岡市】
上下水道事業の一体運営を目指した経営戦略の改定

経営戦略 **水道事業・下水道事業**

京都府亀岡市上下水道部総務・経営課

● 取組の概要

令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間として、今後の上下水道事業運営の指針となる『亀岡市上下水道ビジョン』を令和3年3月に策定（改定）した。

◆背景

- 本市の上下水道事業は、水需要の減少、施設の老朽化、常態化する自然災害など、これまでにない課題に直面している。
- これらの課題を解決し、新しい時代に対応した持続可能な経営基盤を確立するため、事業の目指す将来像や今後の取組の方向性を示すとともに、今後の事業運営の指針となるビジョンを策定（改定）した。

◆具体的内容

- 各種経営指標等を活用し、経営上の課題抽出、現状把握・分析を行った。
- 「基本理念」と4つの「目指す将来像」のもと、その実現に向けて9つの「基本目標」を定めるとともに、取組事項（22項目）や取組内容等を体系的に整理した。
- 第5次亀岡市総合計画を実現するための上下水道分野の実施計画として、また上下水道事業の基本計画として位置づけるとともに、上下水道事業の一体運営を推進するためのビジョンとして策定（改定）した。
- 小規模下水道（農集等）の法適用と下水道事業の経営統合（一本化）を踏まえ、中長期の投資・財政計画「下水道事業経営戦略（平成31年3月策定）」をビジョンに統合し、上下水道事業における全ての取組の最上位に位置する計画として策定（改定）した。

◆効果

- 施設整備に関する指標、経営指標、資源有効利用に関する指標など、各取組目標に係る目標値を定め、着実な事業執行に向けた指針として活用、機能している。

● 取組のポイント

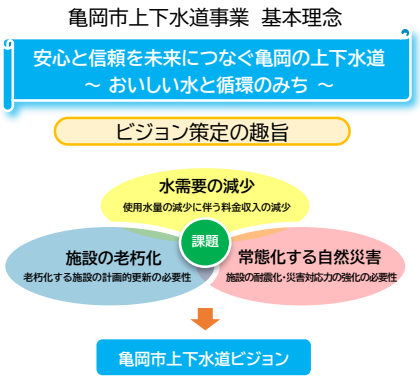
- 令和元年度に市民等アンケート調査を実施し、住民ニーズの把握に取り組んだ。
- パブリックコメント等を行い、策定の各段階で議会や住民に対する周知を図った。
- 人口減少等に伴う使用料収入の減少など将来の事業環境を踏まえつつ、更新事業費の平準化や下水道施設の統合による合理化、消化ガス発電による収入確保等により、収支ギャップのない投資・財政計画（収支計画）を盛り込んだ。
- 令和2年度に「SDGs未来都市」に選定された市として、上下水道事業とSDGsとの関連を明示し、持続可能な事業運営を目指す計画とした。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　87,518人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　224.80km²（令和4年1月1日時点）
- 給水人口　85,604人（令和3年度決算）
- 処理区域内人口　83,195人（令和3年度決算）

亀岡市上下水道ビジョン冊子、基本理念、策定の趣旨





● 取組のスケジュール

- 令和元年10月　市民等アンケート調査を実施
- 令和2年8月　経営審議会にビジョン策定を諮問
- 令和3年1～2月　パブリックコメントの実施
- 令和3年3月　経営審議会からビジョン策定の答申

● 今後の展望

- 各取組目標に係る目標値について、マネジメントサイクルによる目標達成度を管理するため、ローリング方式により毎年度、実行計画を編成する。
- ビジョンの達成に向けて、実行計画、予算・決算においてPDCAサイクルによる進捗管理を行うとともに、達成状況等を踏まえ、ビジョン計画期間の中間年に見直しを図る。